

優秀賞 (y a b 山口朝日放送賞)

全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部

代表者 阿部 恭子 (くらしづくり分野/山陽小野田市)

活動の動機・目的

自分にできる音楽を通して、地域の文化振興への貢献を考え、以下の目的で活動している。

- 生涯学習音楽指導員の相互交流と資質の向上・活性化を図るとともに、生涯学習音楽指導員の社会的評価と基礎づくりを促進することを目的とする。
- 生涯学習の視点にたつて、子どもから高齢者にいたるまで、地域住民の幅広い音楽学習ニーズにきめ細かく対応し、地域の音楽文化・教育の進行と発展に寄与することを目的とする。

活動の内容

- ①ガラス楽器アンサンブル活動への依頼(月に2回程度練習) 現代ガラスの発展で名高い山陽小野田市の地域文化の一環として、ガラス楽器アンサンブル活動(2008年度文化庁『創造のまち』支援事業で発足)を立ち上げた。



世界スカウトジャンボリー

- ②高泊たけの子オーケストラ

2006年高泊児童館に「竹楽器を作る会」を地域の有志で結成し、地元の竹を伐採して楽器作りを始めた。翌春、県下初の小学生で編成した「高泊たけの子オーケストラ」が誕生。(2007年度文化庁『創造のまち』支援事業)竹の楽器を使った楽団は県内でも岩国や下関、萩にもあるが、子どもだけの楽団はここだけ。

- ③「おんがくであそぼう」(0歳児から2歳児と保護者対象)

平成22年度よりはじまり、平成28年度まで自主事業として行なった「おんがくであそぼう」は、山陽小野田市子育て支援課のイベント講師として平成30年6月より依頼を受け活動している。毎月1回。親子が常時30組参加。わらべ歌や音楽と一緒に体を動かして楽しんでいる。

- ④「0歳からのファミリーコンサート」と「休日昼下がりのティータイムコンサート」

山陽小野田市と共催で、今年の12月で45回目を迎える。年に5~6回開催。

毎回、プロの演奏者を招き、午前中を「0歳からのファミリーコンサート」として、赤ちゃん連れで、「泣いてもいいよ」「おしゃべりしても大丈夫よ」とプレイマットの上に座って親子で楽しむ。午後は趣を変え、未就学児の入場は遠慮していただき、お茶やお菓子付きで「休日昼下がりのティータイムコンサート」を開催。

- ⑤アラ還フェスティバル

演奏する人も聴く人も「アラ還」中心のコンサート♪青春時代の懐かしい曲満載。10組前後のバンドが出演し、実行委員会と多数の当日スタッフで盛り上げる。

- ⑥国際音楽の日記念事業コンサート

山陽小野田市を元気にするために生まれたコンサート

『生きる』プロの演奏家と山陽小野田市で生まれ育った仲間たち(竜王太鼓保存会、山陽小野田少年少女合唱団、創作楽器のコラボレーション)がともに作り上げる舞台。2017年度11回目を開催。



『生きる』フィナーレ

これからめざしたいこと

未来を担う子どもたちのすこやかな成長を一層応援したい。地域で頑張っている音楽団体やダンスチームで造る“夢と希望を発信する音楽舞台”『キッズ・ミュージックフェスティバル』の開催。